■ 河合塾テキスト「高３ 共通テスト対策地理〈2026年 １学期〉」演習問題 解説 ■

【第13講】

解答番号	正解	解　説	重要度
1	③	③：正答。福岡市：Ｆ。全国：Ｅ。会話文中に福岡市の産業の特徴として，「広域に商品などを供給する大企業の支店が立地」とあることから，卸売業が発達していることがわかる。**カ**：Ｘ。福岡市は地方中枢都市であるため，九州地方の政治・行政の中心地（Ｙ）であるが，会話文の内容は，「広域に商品などを供給する大企業の支店数を，九州地方の他都市と比較することで推測できる特性」であるため，ここでは経済の中心地（Ｘ）が該当する。	★★
2	②	②：日本。2007 年から 2016 年の期間に入国者数が急増した。2008 年に観光庁を設置され，ビザ発給の規制を緩和するなど観光客を誘致する活動を強化した。①：ロシア。寒冷な国であるため，温暖な地域へレジャーへ出かける傾向が強く出国者数が多い。③：フィリピン。発展途上国であり海外旅行に出かける人が少なく，他国と比べて国内の観光資源にも乏しいため，出国者数，入国者数ともに少ない。④：トルコ。世界的な観光立国であり入国者数が多い。	★★
3	③	④：正答。イスラーム（イスラム教）：Ｆ。北部や西部に多く分布する。キリスト教：Ｅ。アフリカ北東部のエチオピアでは，コプト派キリスト教が分布する。中部や南部でもヨーロッパ諸国の植民地支配によって広まった。**サ**：貿易風。アフリカ東部の低緯度地域では，年間を通して東よりの貿易風が卓越し，これを利用したイスラム教徒のアラブ人との交易がさかんであったため，一部ではイスラム教が広まった。	★★★